



日新小だより



みんな ニコニコ 日新の子



学校評価の結果について

今年度も保護者アンケート、児童アンケート、教職員における自己評価を実施し、課題をあげ改善策を検討しました。

その後、今後の方向性が妥当であるか、学校関係者評価委員の皆様にご評価いただき、今後の学校運営改善のための指針とさせていただきます。

つきましては、今年度の学校評価について、各種アンケートの結果及び、今後の取組についてお伝え致します。保護者の皆様をはじめ、ご協力いただきました関係各位に、心より感謝申し上げます。

1 アンケートの結果

No	質 問 項 目	評 価		
		教職員	保護者	児童
1	学力向上に関すること 学校では、各教科で基礎学力の向上を目指した教育活動がなされていると思いますか。	基礎基本 2.8 授業力 3.1 授業改善 2.8	3.3	3.4
2	あいさつ、言葉遣いに関すること 学校は、あいさつや言葉遣いなどを身に付ける指導を大切にしていると思いますか。	3.0	3.2	3.4
3	いじめや不登校に関すること 学校は、いじめや不登校、問題行動をなくすための適切な指導を行っていると思いますか。	いじめ 3.3 不登校 2.7	3.2	3.6
4	情報発信に関すること 学校便りや学年通信、各種プリントなどで学校からの情報を積極的に発信されていると思いますか。	3.2	3.5	3.4
5	安全確保に関すること 学校は、子供たちの安心・安全な生活について気を配っていると思いますか。	安全教育 3.1 危機管理 3.1	3.4	3.8
6	きまりに関すること お子さんは、日新小のきまりをしっかり守って生活していると思いますか。	学習規律 3.2 生活規律 3.0	3.3	3.3
7	健康、体力向上に関すること 学校は、子供たちの健康や体力の向上のための活動に取り組んでいると思いますか。	2.7	3.3	3.4
8	相談体制に関すること 学校は、子供の学習や生活、心身の健康などについて家庭に連絡したり、気軽に相談に乗ったりしていると思いますか。		3.3	3.1
9	生活リズムに関すること お子さんは、十分な睡眠時間がとれるような生活リズムが身に付いていますか。	2.9	3.2	3.1
10	学習習慣に関すること お子さんは、毎日決まった時間(学年×10分以上)、家庭学習や宿題に取り組み、家庭での学習習慣が身に付いていますか。	2.9	3.2	3.0

2 保護者アンケートの記述とアンケート結果等からの改善の方向性

(1) 学力向上に関すること

○ 保護者アンケート記述

- 100マス計算のような基礎学力向上のための習慣的な学習を取り入れてほしいです。(親が言ってもやってくれないので)
- 学力向上(勉強意欲向上)
- 少人数授業など、学力にあった指導が可能な場合でいいので、難易度が高い問題に挑戦したり、スピードを意識した小テストを試みたりするなど、良い刺激になるような学習もあるといいなと思います。



○ 改善の方向性

- 各種調査や検査の結果から、学習内容の定着に課題が見られます。学力向上のために「基礎基本」の徹底・定着、「学ぶ意欲の向上」が必要です。今後、朝学習の時間を活用し、全校統一したドリルを活用したり、子供が主体的に学習に臨めるよう授業改善の取組を推進したりしていきます。
- 子供に一人1台のタブレットが導入されます。タブレットの効果的な活用を進めていきます。
- 今年度も習熟度別少人数指導やTT指導を行ってきました。次年度は、特に、課題のみられる学年を中心に習熟度別少人数指導の時間を配当して、学習内容を確実に身に付けられるよう取組を進めていきます。

(2) あいさつ、言葉遣いに関すること

○ 保護者アンケート記述

- 子どもたちには、あいさつは大切と教えているかと思いますが、迎えに行き、先生方であっても保護者にはあいさつはないのでしょうか。
- 挨拶や言葉遣いなどをもっと指導していただきたいです。(全学年、いじめにつながるためにも)



○ 改善の方向性

- あいさつについては、日頃から子供たちに指導するようにしてきました。また、職員は子どもたちの手本となるように取り組んできました。一方で、保護者アンケートの意見からは職員のあいさつについての指摘があることから、一層、子供たちの手本となるよう、また、一社会人としてあいさつを徹底していきます。

(3) いじめや不登校に関すること

○ 保護者アンケート記述

- 子供の話によく耳を傾けてほしいと思います。問題行動をとる子にしっかり注意して改善するよう行動してほしいです。何度もやられる側の子がずっとがまんするのはかわいそうだと思います。
- いじめ、いじめにならなくても、相手の嫌なことをふざけてくりかえしやる子にしっかり指導してほしいと思います。不登校が増えます。先生が被害者の子をし

っかりフォローしてほしいと思います。先生がきちんと対応してくれないと、言っても無駄だと不登校になる。



○ 改善の方向性

- 不登校をうまない環境づくりを行うことが重要であると考えます。学級の中の居場所づくりや学校での学習や活動に充実感を得られるような指導をしていきます。
- 欠席が多くなる傾向（連続3日や原因が分からない欠席、保護者から連絡がないなど）が見られた場合、早目に保護者に連絡して、不登校を未然に防ぐ取組を強化していきます。
- 不登校やいじめの問題に対して、「いつ・だれが・何をするか」など分担を明確にして、組織的な対応をしていきます。
- SSW や SC、関係機関と連携し、不登校解消の取組を推進します。
- いじめの問題は、いつでも、どこでも起こりうることとして、アンケートや日常生活の中で子供たちの変化を見逃さないように努めていきます。また、子供たちがどの教員にも相談できる環境づくりを行っていきます。
- 子供たちにいじめは許されないことであるという意識を醸成するために、学級での指導や、いじめ撲滅委員会を中心とした子供の主体的な活動を進めていきます。

(4) 情報発信に関すること

○ 保護者アンケート記述

- 行事に関する情報の発信が遅いと感じました。学期ごとの参観日がないので、一回でも多く子供たちの様子が見られるよう文化的行事に対しても他校のようにDVD や Web 配信があればよかったなと思います。クラスの様子は担任の先生が通信で知らせてくれて感謝しています。
- コロナの影響で授業参観や懇談会の機会がなく、学校での子どもの様子がわかりにくいです。クラスの雰囲気はどうなのか、何か問題になっていることはないのか、知る機会があればいいなと思いますが、状況が状況なので親が学校へ出入りするの難しいとは理解しています。
- 特に力を入れてほしいこととは異なりますが、行事予定のお知らせが遅いです。日新小だよりは10日前くらいに発行すべきでは
- 家庭・地域と学校の連携、開かれた学校であってほしいと思います。
- コロナのせいとは言いたくない心情です。先生の顔も知らない。名前もわからない状態で今まで通っています。こういう状況だからこそ、学校・先生方の力量や考えがでるんだなと思いました。参観日、家庭訪問がすべてない中で、先生の考えや方針を理解してもらおうとしましたか。その上で今回の質問項目を評価すれとはなかなか・・・親へ手を抜いているとしか思えません。



○ 改善の方向性

- ・新型コロナウイルス感染症防止のため、これまで行ってきた参観日や学級懇談を実施できませんでした。学年・学級通信で可能な限り子供たちの様子なども伝えてきましたが、十分な情報発信とは言えないところがありました。今後も文部科学省から示されている「学校における新しい生活様式」に準じた教育活動を行っていく必要があるため、教室に入ることのできる人数の制限もあります。参観日の実施方法を工夫して保護者が子供たちの学習の様子を参観できるようにしていきます。
- ・日新小だよりは、これまでと同様に月末に発行します。行事予定については、年度初めに年間行事予定を配付します。また、ホームページにも年間行事予定を掲載します。

(5) 安全確保に関すること

○ 保護者アンケート記述

- ・下校中などに石を投げたり車道を走って帰ったりする子をよく見ます。指導していただいたら少しはかわるのかなと思います。
- ・学校周辺の駐車について、特に朝や下校時間の校門前や先生方が帰るとき、駐車場から出るところは、歩道なのにすごいスピードで出て行って危ない。



○ 改善の方向性

- ・登下校の安全指導は継続的に行っていきます。
- ・学校周辺の駐車場については、子供の安全確保のため児童玄関側からの車両の出入りを制限しています。また、明倫中側からの入口には一時停止の表示をするなどして安全確保の徹底を行っています。職員は、通学路でもあることから必ず一時停止することを徹底していますが、子供の送迎や学校開放などで出入りする車両もあるため必ず一時停止をするよう啓発していきます。

(6) きまりに関すること

○ 改善の方向性

- ・全校で統一した指導となるように、今後も「そろえる活動」の指導・徹底を行っていきます。また、学年主任が集まる会議の中で、各学年の実態や指導の在り方などを交流する中で課題の解決を図っていきます。

(7) 健康、体力向上に関すること

○ 保護者アンケート記述

- ・低学年のうちから、性（生）教育をやっていただきたいと思っています。家庭だけでは足りないと思っています。



○ 改善の方向性

- ・コロナ禍における体力向上の取組を充実させていく必要があります。これまで兄弟学級で交流しながら行ってきた内容も場所や方法を変えていかなければならなくなります。コロナ禍にあわせた継続的な取組を行っていきます。
- ・性教育は、これまでも全学年で計画的に行っています。今後も、継続します。

(8) 相談体制に関すること

○ 改善の方向性

- ・保護者、児童アンケートともに概ね高い評価となっています。保護者アンケートは昨年度の結果を上回っていることから、新型コロナウイルス感染症のため、保護者が子供たちの様子が把握しづらい中でも子供の相談にのってくれていると感じている方が多いようです。今後も、子供たちの健やかな成長のために保護者との連携を図っていきます。

(9) 生活リズムに関すること

○ 改善の方向性

- ・規則正しい生活リズムが身に付いていない子供が散見されます。決まった時刻に起きられないため遅刻をする児童が多いです。また、そのことがきっかけで不登校になることもあります。今後も元気アップなどの取組を通して、家庭へ規則正しい生活リズムの重要性について啓発していきます。
- ・スマホやゲームなど、長時間行っている子供が多く、生活リズムの乱れを引き起こす要因ともなっています。スマホやゲームの所持率が高いので、各家庭で使い方の指導や子供たちの使っている内容を確認するなど具体的な指導をお願いしていきます。

(10) 学習習慣に関すること

○ 保護者アンケート

- ・家庭での学習時間（学年×10分以上）この時間を決めた基準がわからない。



○ 改善の方向性

- 家庭学習の目安となる時間は、北海道教育委員会から保護者に向けて配付された「時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える」に、学年×10分+10分の学習に取り組むように記載されています。このことを受け、本校でも、目安となる時間を達成できるように子供たちへの指導と家庭への協力をお願いしています。今後も継続した取組を行います。
- うちガク調査や学年、学級通信などで保護者へ啓発を行っていますが、目標時間に到達している子供の割合は65%ほどであり、学年が上がるにつれて達成率も下がっている傾向にあります。子供たちへの指導とともに家庭への啓発を強化していく必要があります。

(11) その他

○ 保護者アンケート記述

- 子供をしっかり見ていただいていると思います。今、思いつくことはありません。今年のような状況の中でも先生方にはいつも感謝しかありません。
- 親の呼び方（学校、外、家関係なく）については、大きくなってから恥ずかしい、家ではよいけど学校ではやめるように等の指摘を今後一切やめてほしい。どのような呼び方も子ども達の自由であり、呼び方を変えるのも子ども達の自由です。恥ずかしくても嫌でもないのに、「恥ずかしい、やめたほうがいい。」等、言われて子ども本人はどうしたらいいのか、何故いけないのか不要な悩みを抱えており、親としては困っています。「ママ、パパ、お母さん、お父さん、オカン、オトン」いろいろな呼び方があっても、教師から「それは大きくなってから恥ずかしい。」と言わないでください。
- 昨年度、衛生上水道水の直飲みではなく、コップ持参で水道水を飲めるようにしてほしい。感染症を広げないため、衛生面への指導と配慮をしてほしい。夏季の登下校時に熱中症対策で水道等を持参させることを認めてほしいと要望、検討してほしい旨をアンケートの記載させていただきました。その回答として、熱中症対策としての水筒の持参は今のところ考えていませんが、学校の対策として、体育の外での授業を制限したり、注意を呼び掛けたりして熱中症対策に努めている。また、暑さ指数が過去苫小牧では、その基準になったことがありません。家庭での予防・協力をお願いしますとのことでした。子供たち一人一人の体質、また、正しい食生活、生活リズムを行っていても、その日その日で体調がすぐれないこともあるかと思います。暑さに弱い子はその指数に関係なく熱中症に陥ることも考えられます。特に、下校時は授業で疲れた体に熱いアスファルトの道路を歩いて帰宅します。汗などで水分も奪われ、熱中症に陥る可能性は十分考えられます。苫小牧では基準になったことはないと言い切ったの回答でしたが、数字だけの判断ではなく、子どもたち一人一人の体質を考えての判断をしてほしいものです。感染症に対しての回答は「水道水の蛇口を必ず使用後は下を向ける指導、コップを持たせるとコップの衛生面に配慮しなければなりません。今のところ持たせる考えはありません」との回答をいただきました。現在、コロナ感染症が広がり水筒持参にいただいたことはとてもありがたいと思いますが、今まで水道水の蛇口を使用後下に向けるだけで感染予防になっていたのかと疑問には感じております。コップに関しては確かに衛生面的なことはあるかと思いますが、水道水の直飲み（口をつけて飲む子もいるかと思いますが）よりはるかに感染予防になるのではと思います。コロナだけが感染症ではないです。これまでインフルエンザ

の感染症への対策はどのように取り組んでいかれてたのでしょうか。アンケートに考えていることを率直に回答させていただいたつもりです。これに対し、わが子に理不尽な接し方がないよう願います。

- 学校にお電話すると、一部の先生方と思いますが、とても暗い声で不愛想な対応が見られます。先生として、また、仕事でもあるので、相手が不愉快になるような電話対応は気を付けてほしいです。
- 子供たちのために全力をつくしていただいていると思います。
- 外国語の時間がもっとあってもよいかと思います。
- 置き勉をもう少し増やしてほしいと思います。毎日、時間割通りのものをそろえて用意するのも学習の一つというのはよくわかるのですが、ランドセルが4kgを超えることも多く、姿勢の問題（健康）を考えると大丈夫かなと思うことがあります。ちなみに本人は置き勉したい等は言っていないですが、たびたび頭痛を訴えることがあるので少し心配しています。
- コロナに対して正しい知識、対応をしていただきたいです。子ども達にマスク着用を義務付けることは、免疫力の低下、骨密度低下につながるだけでなく、集中力、口内環境の悪化などデメリットだらけです。また、マスクにはウイルスを防ぐ効果はまったくないので、着用していただきたい子だけがしていればよいと思います。マスコミの情報を鵜呑みにするのではなく、科学的根拠にもとづいて、正しい行動をとっていただきたいです。新生活様式がアホだということに気付くはずで
- でんじろう先生のような実験とか、紙飛行機耐久大会とか、子どもたちの記憶に残るようなことがあると、小学校、楽しかったなって思える思い出を残してほしい。
- 学校は・・・という質問でしたが、担当の先生は・・・ととらえて返答しました。子供は今年一年間生き生き学校に行き、学校での出来事をよく話してくれ、子供の特徴をよく理解して伸ばしていただけていると感じています。担任の先生次第でここまで変わるのかと驚いています。正直これまでの先生は、自分たちのいいように子供たちを動かし、参観日は子供たちが兵隊のように映りました。私はこの学校にはいきたくないなど・・・。集団の前に個人をしっかり見ていただける今の環境には非常に満足しています。どの先生が担任になろうと、同様のまずは学校を楽しくいきたくなる環境づくり、先生方の意識づくりとなればよいと考えます。
- 勉強や学力とは関係ありませんが、各同好会があると思いますが、少数のため活動できない会もあると思います。スポーツ、勉強の両面からも声掛けをしてもらいたいと思います。
- コロナの中、大変な時に工夫をして先生たちががんばっていらっしゃるの、とてもありがたいと思います。これからもよろしくお願いします。
- 行事等で大変な中、ありがとうございます。宿泊学習もとても楽しめたようで、LIVEも見れました。ありがとうございます。
- 修学旅行の時期を早めてほしい。宿泊学習は、他校では日高など例年通りなのに、なぜ日新は学校に泊まるのでしょうか。
- 古くなっているところ（特にトイレ）を新しくしてほしい。
- ごめんなさい。今年度は特に学校の様子がよくわからず？が多くなってしまいました。
- 東玄関を開けてほしいです。朝込み合って、しまいにはぶつかってきたりしてとても危ないです。



○ 改善の方向性

① 新型コロナウイルス感染症に関すること

- ・今後も、文部科学省より示された「学校における新しい生活様式」に準じて教育活動を進めていく必要があります。また、苫小牧市教育委員会からも令和3年度の教育活動の方向性が示され、感染症予防をこれまで同様に徹底していく必要があります。「手洗い・換気・マスクの着用・三密を避ける」などについては、今後も徹底していきます。
- ・水筒の持参は、水飲み場での密集を避ける意味もあり、今年度から希望者は持参してもよいこととしました。今後も同様の対応を行います。また、暑さ指数を用いて熱中症の注意喚起を行ってきました。同時に屋外で活動するときには水筒を持参させるなどして、一層、熱中症の予防に取り組んできました。今後も健康・安全の取組を徹底していきます。

② 職員の指導・対応に関すること

- ・あいさつでも指摘のあった通り、電話においても丁寧な対応をしていきます。
- ・子供たちが学校で生き生きと過ごすためには、教員一人一人の指導力を高めていく必要があります。今後もあらゆる機会を通して、指導力の向上を目指していきます。また、子供たちの発達段階に合わせた指導を行っていきます。

③ 学習道具に関すること

- ・学級間の差が出ないように、学校においていく道具を決めて対応しています。紛失等が無いように確実に管理できる場所に道具を置いています。今後もこれまでと同様の対応をしていきます。

④ 学習内容に関すること

- ・子供たちにとって楽しい学習を望む意見がありました。学習の内容は、各学年で示されているため変更することはできませんが、わかる、楽しい授業を目指して取り組んでいきます。
- ・外国語についても、1年間の内容と指導時間が定められています。これまでと同様の計画で進めていきます。
- ・修学旅行や宿泊学習は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業が続き、先行きが不透明であったことから、当初の予定より延期する形で実施しました。宿泊学習については、当初予定していた施設が、宿泊の人数制限により使用できませんでした。そのため、宿泊学習で行う予定だった防災教育を中心に苫小牧市の危機管理室の協力も得ながら学校での宿泊を行いました。内容としてはとても充実したものとなりました。

⑤ 施設・環境に関すること

- ・校舎の修理・営繕については苫小牧市教育委員会に要望しているところです。
- ・玄関については、不審者侵入の防止や朝の健康状態把握のため、今後も西玄関のみ使用します。

⑥ その他

- ・感謝の言葉をいただいたことには、とてもうれしく思います。今後も信頼される学校を目指して教育活動を進めていきます。